◆映画完成披露試写会のお知らせ

2月28日生涯学習センターで完成披露試写会！

コロナワクチン2回目接種4時間後に亡くなった鎌倉の13歳少年の話で**鎌倉市議会**が出てきます。主演小林敬氏は鎌倉市民。

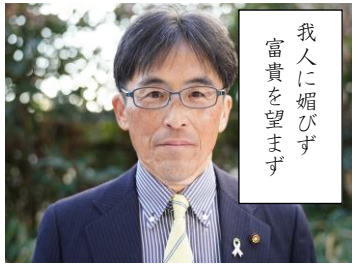
HP

◆長嶋がやっている生配信番組・・・毎週水曜日21時

毎週様々なテーマで様々なゲストをお呼びしてやっているネット生配信番組。
映画監督の“小楠けんじ”さんと一緒にやっております。

YouTube

Facebook、X、YouTube で**自動配信**。長嶋の blog からも見られます。
議員、大学教授、様々な専門家、ワクチン被害者遺族など大変多くの方々に出演していただいて様々なテーマを議論。**時事ニュース解説コーナーあり。**



◆鎌倉市議会議員長嶋竜弘

第198号5期目12号（完全無所属）

メール：kamakurasi@gmail.com
・稲小-成中-茅ヶ崎高校-和光大
・さいかや、東急ハンズ、西友
・道の駅パスカル清見店長など

長嶋 HP

◆鎌倉市長選挙結果

松尾たかし⇒31,535 票／得票率(52.7%)
(有権者総数に対する得票率 21.31%)
くりはらえりこ⇒24,829 票／得票率(41.5%%)
(有権者総数に対する得票率 16.78%)
うめざわやすお⇒1,922 票／得票率(3.2%)
ひろせこういち⇒1,598 票／得票率(2.7%)

有権者数/147,948 人(男 68,935/女 79,013) **投票率/40.91%(-0.87%)**

◆過去の結果…注:2017 年は衆議院議員選挙と同日の投票日

◎松尾たかし得票数

・2021 年得票	⇒35,801 票(得票率 58%)	/投票率 41.78%
・2017 年得票	⇒46,666 票(得票率 54.5%)	**/投票率 60.12%**
・2013 年得票	⇒32,875 票(得票率 61.50%)	/投票率 37.40%
・2009 年得票	⇒40,096 票(得票率 62.32%)	/投票率 44.60%

◎対抗馬得票数

・2021 年対抗馬	⇒25,927 票(得票率 42%)	対抗馬候補者2名
・2017 年対抗馬	⇒38,956 票(得票率 45.5%)	対抗馬候補者3名
・2013 年対抗馬	⇒20,574 票(得票率 38.50%)	対抗馬候補者1名
・2009 年対抗馬	⇒24,244 票(得票率 37.68%)	対抗馬候補者1名

➡2017 年衆院選と同日以外の4回の選挙の平均得票数⇒**松尾市長3万5千票** VS **対抗馬2万4千770票**。投票率によって多少数字の上下はありますが、**得票数3.5万 VS 2.5万**の構図となっています。
今回下位2名の得票分は松尾市長からはがれた票に丁度なっています。
松尾市長 VS 対抗馬の構図はあまり変わらず！
現職である松尾市長に入る組織票は3万票程度はあります⇒市長の人気が落ちたとはいえ底堅い票があります⇒ひっくり返すとしたら3万5千票は必要です⇒**投票率が40%程度では対抗馬の当選はまずありません。**

◆緊急にやる事・やめる事…議員として市長に求めてまいります

松尾市長が5期目になります。まずは、4期16年で滞っている課題の解決をしなければなりません。これは相当大変でかなり時間と労力を使います。しかし対処しなければ鎌倉市政を前に進める事はできません。

①市役所組織改革…動かない市役所の組織立て直しが最大課題

・優秀な職員はいるが機能していない。仕事に意欲を持てる方向づけが必要。
・公務員としての意識教育、特に幹部職員の能力向上が重要(状況対応型)
・最初に機構改革(組織の再編成)の実施が必要

194 号新聞

②インフラ老朽化&公共施設老朽化

194 号新聞に記載どおり**今後財政負担が増大**、早期の対策必須

③命を守る災害対策

・耐震補強の促進　・津波避難タワー➡設置場所・費用等国県の協力必須
・津波避難シエルター導入、津波避難ビル再構築、津波避難通路整備

◎深沢への新庁舎建設➡私は財政的にできないと判断しています

現本庁舎は長寿命化を行う(一部執務室移動&増築も検討)

◎村岡新駅➡必要なし、使う予算で**新都市交通 Zippar** の整備を。

JR、神奈川県、藤沢市との協議が必要だが物価高騰のおり 3 者は本気でやるおつもりなのか？ここに予算を使うなら新都市交通や自動運転など未来の方向性が見える事に予算を使うべき。

◎大船消防本部、鎌倉消防署移転➡これは様々問題がある

火災は年間 30 件程度、**救急出動数は 1 万 2500 件**にも及び救急搬送が主体で、**最早「消防署」ではなく「救急署」**。火災が直近 5 年で年間 1～3 件程度の署は救急所という位置づけで、他の用途の併用も加えて考えていくべき

・大船地域に消防署がなくなる事は考えられない。

・大船消防本部は現地に残す(後現地建て替えか山崎浄化センターに玉縄と合築)
・鎌倉消防署は移転しない(後に現地建て替え)

◎鎌倉漁港について

すでに進んでいますが反対の声も大きくきちんとした議論説明ができていない状況です。このまま進めたら地域に軋轢が生まれるので、立ち止まって対話する必要があります。環境面、災害時、食料自給、漁業振興、マリンスポーツ振興を含め、鎌倉市沿岸部の総合的な活用を考えた大きな議論が必要。どういったやり方なら皆様が納得した形で実現できるのか考えるのに時間を使いたい。

◎今泉生ごみ資源化施設➡必要なし、やるのなら**エコフィード**で歳入確保

◎人手不足の対応、体育館へ空調設置、インバウンド観光客問題改善等

◆様々検討しながら進める事…この他は右下 QR をご覧ください

① 経済政策…自然資本主義を基本とした地域型資本主義⇒地産地消

・エネルギーが最も消費額が大きいので取り込む(**地域電力会社**)
・**減税&助成**(企業誘致・起業支援、リフォーム、景観配慮など)
・**企業誘致**と**起業支援**の施策が必要
・大学を誘致する学園都市構想
・観光・商業を鎌倉の産業の柱に据える
→**観光版地産地消**の取り組みを実施
→仮想鎌倉商店街のたちあげ(**ネット通販**)
→「武家の古都」「歴史文化都市」で**日本人観光客を誘致**

② 子育て・教育・福祉・介護…国難、地方自治体として出来る事をやる

少子高齢化、複雑な社会情勢、ライフワークの多様化、深刻な人手不足など、我が国の最も解決しなければならない課題が厳しい状態。環境整備や人材確保等できる事は予算を投じてやるべきです。小学校の学区単位程度を基盤として考え、地域全体で支える体制を構築して様々なサポートを行う。子育てと高齢化対応は同時進行で行う事で成果が上がると考えます。

・現状の把握と将来見込みをきちんと行う
・様々なケースでのご意見・要望を拾う
・人材確保に必要な予算確保
・拠点校整備に向けた取り組みを進めていく。
・小学校中学校の施設合併も検討する必要がある。
・保健福祉センターの設置検討

前提
〇議会との関係性の正常化
〇市役所組織の立て直し

◆優先的にやるべき事

①道路・下水道などのインフラ老朽化
②学校をはじめとした公共施設の老朽化
③命を守る為の災害対策ができていない
④二転三転して長年迷走しているごみ問題
⑤図書館やスポーツ施設などの施設が貧弱
⑥インバウンドなどの観光問題の対応
⑦昨今の急激な物価高騰・人手不足の対応

鎌倉革創政策
三本柱